落錘衝撃試験(ノーマル)　治具組付け方法

2022 9.7 文責：神鳥哲

**常温**

1. PCの電源を入れる．
2. PCの上のクリーム色の機械の電源を入れる
3. 裏側の”100V”の赤い表示の左のボタンをONにする
4. 紫のコンプレッサーをつけ，静かになるまで待つ
5. FRAME ENABLED(2のボタン)を押すとFRAME STANDBYからFRAME READYに代わる
6. 試験片を設置する．左と奥のピンに合わせる
7. クランプする(クランプの上側のボルトで足の長さが変えられる)
8. JOG UP/DOWN(速い動き)，FINE POSITION(微調整)で少しずつ高さを下げ，試験片と圧子の間に紙を噛ませて引き抜けるかギリギリのところまで下ろす
9. ZERO POSITIONを押してゼロ点を決める
10. PCに移り，Impulse Data Acquisitionを起動(Impulse Controllerが自動で付加起動)
11. File->New->Methodsを開く
12. 各項目の設定は
    1. Generalはそのまま
    2. Impact Settingsはエネルギーの計算に使うために
       1. Required weight:5.6208
       2. Height/Velocity/Energyで設定，基本的には(？)heightで設定する．一回試し打ちする場合は初回の試験片と同じ設定にしておくと楽
       3. Channels: なし
       4. Filter: no filter
       5. Times data Information：なし
       6. Transducer Information  
          Tup certificate of calibration/Calibration factors for Load ranges  
          Maximum Load＆Load range:22.2410  
          真ん中は13.064
       7. Data collection   
          duration of data collection(取得頻度):15ms(佐藤くん)

Limits/Temperature Control:そのまま

Flag/Signal:データの取りはじめを自動・外部入力

* + 1. 名前をつけて保存(日付，試験片番号．なにの条件下)

1. 下のドアを締める．Rebound BrakeをONにする(赤ランプ付く)  
   ブレーキの高さは落水部の金具が少し下にはみ出すくらい
2. 正面のドアを締める

(さっき設定していなければここでZERO POSITIONを押してゼロ店を決める)

1. 裏側のドアを開け，落としたときに配線に負荷がかからないようになっているか確認
2. Run->Impact Test
3. 先程作ったメソッドファイルを選択
   1. Profile/No of tests：いじらない
   2. Data Storage : New->新フォルダ作成->create
   3. Tracking Information/ Specimen Informationはいじらない
   4. Impact Test Preparation/Use Drop height defined in your test method にチェック  
      (さっき設定した高さか確認)
4. 扉の閉鎖，リバウンドブレーキの点灯，位置，配線を確認
5. コントローラの再生ボタン(▶)を押すとアームされる->押せるようになったら(▶)で試験実施
6. Controllerで右クリック”Pick up Drop weight”で引き上げ
7. “Results”->”Export”で”curve data”(勝手に保存)，”results”(csv)を保存->Finished

データの保存場所はMy computer/OS/Program Files/Instron/Impulse/Export

1. 新試験の開始はFile->new->methodから設定する
2. 片付けの手順
   1. ブレーキオフ
   2. 100V切る
   3. 白のやつ切る
   4. PCシャットダウン
   5. コンプレッサーOFF